

問1 北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸では、冬の時期に大陸から海面を漂流してくる氷の塊が見られます。地域の貴重な自然観光資源としても活用されているこの現象の名称を選びなさい。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. オホーツク海で見られる流氷      2. 日本海で見られるマリモ      3. 太平洋で見られる流氷      4. オホーツク海で見られる有珠山の火山灰

問2 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。（2025年 茨城公立入試 類似）

1. 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。  
2. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。  
3. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。  
4. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。

問3 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 内陸性気候      2. 海洋性気候      3. 瀬戸内の気候      4. 南西諸島の気候

問4 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため  
2. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため  
3. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため  
4. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため

問5 北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。  
2. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。  
3. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。  
4. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。

問6 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 温帯      2. 冷帯（亜寒帯）      3. 熱帯      4. 乾燥帯

問7 面積が約83,424平方キロメートルと都道府県で最大であり、多くの外国人観光客も訪れる北海道において、2005年に世界自然遺産に登録された半島はどこか。周辺にはラムサール条約に登録された湿原も存在し、豊かな生態系が守られている。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 知床半島      2. 積丹半島      3. 根室半島      4. 下北半島

問8 札幌市中心部を描いた2万5千分の1の地形図において、JR札幌駅から札幌市役所（地点B）までの図上の長さを測定したところ、ちょうど3cmであった。このとき、これら2地点間の実際の距離として適切なものはどれか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 250m      2. 500m      3. 750m      4. 1000m

問9 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。  
2. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。  
3. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。  
4. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>オホーツク海で見られる流氷</b>	北海道の北東側に面するオホーツク海では、冬になるとロシアのアムール川から流れ出した真水が凍り、それが風や海流に乗って南下してきます。これが「流氷」と呼ばれる現象です。マリモは阿寒湖で見られる植物、有珠山は北海道の南西部に位置する活火山であり、それぞれ発生場所や性質が異なります。
問2	<b>答え 1</b> <b>知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。</b>	知床半島は、2005年に世界自然遺産に登録されました。この地域は、冬に接岸する流氷がもたらすプランクトンを土台に、魚類、それを食べる海獣や鳥類、さらに陸上のヒグマへとつながる豊かな生態系が、高い密度で維持されている点が評価されています。東側には北方領土の一つである国後島が隣接しています。
問3	<b>答え 1</b> <b>内陸性気候</b>	北海道の中央部は海から離れているため、比熱の小さい陸地の影響を強く受けます。水に比べて陸地は温まりやすく冷めやすいため、夏は気温が上がりやすく、冬は極めて寒冷になる内陸特有の気候が形成されます。冬には氷点下まで気温が下がり、積雪も見られるのが大きな特徴です。
問4	<b>答え 1</b> <b>広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため</b>	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、機械化された大規模な経営が特徴です。特に、稲作が困難な地域も含め、広大な草地を利用した酪農（乳牛の飼育）が全域で盛んに行われているため、産出額に占める畜産の割合が突出して高くなります。「米の割合が高い」あるいは「野菜の割合が高い」といった他の地域の構成とは、土地利用の規模の面で大きく異なります。
問5	<b>答え 1</b> <b>蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。</b>	大正時代などの古い地図に見られる石狩平野は、河川が激しく蛇行し、土地の多くが湿地で橋も少ない状態でした。しかし、現代の状況を示す資料では、治水工事によって流路が直線的に整えられています。これに合わせて、開拓を効率的に進めるために土地が碁盤目状に区画整理され、道路網の整備とともに、分断されていた地域を繋ぐ数多くの橋が架けられるなど、土地利用が高度化しました。
問6	<b>答え 2</b> <b>冷帯（亜寒帯）</b>	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度を超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問7	<b>答え 1</b> <b>知床半島</b>	北海道の北東部に位置する知床半島は、流氷がもたらすプランクトンを起点とした海と陸の豊かな食物連鎖が評価され、世界自然遺産に登録されました。また、北海道には釧路湿原などラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録された湿地が数多く存在します。
問8	<b>答え 3</b> <b>750m</b>	2万5千分の1の地形図では、実際の距離を25,000分の1に縮小して描いている。そのため、図上の1cmは実寸で25,000cm（250m）に相当する。図上の長さが3cmである場合、250mを3倍した750mが実際の距離となる。単位をセンチメートルからメートルへ換算する計算過程を正確に行うことが重要である。
問9	<b>答え 1</b> <b>洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。</b>	石狩平野のような低湿地では、かつて河川が激しく蛇行していたため、大雨のたびに氾濫による深刻な洪水被害が発生していました。流路を直線化する工事（ショートカット）を行うことで、増水した河川の水を速やかに海へ排出できるようになり、治水機能が向上しました。これにより、もともと水分を多く含んでいた泥炭地の排水が進み、碁盤目状の区画を持つ大規模な稲作地帯などの農地へと転換することが可能になりました。